

# 広報いんざい

## 特別号

平成 27 年 3 月 21 日発行

発行：印西市 編集：秘書広報課広報広聴班  
〒270-1396 印西市大森 2364-2 電話 0476-511111 FAX 0476-7242  
ホームページ <http://www.city.inzai.lg.jp/> Eメール [home@city.inzai.lg.jp](mailto:home@city.inzai.lg.jp)



提供=読売新聞社

### 印旛沼をスポーツの拠点に (百年の計)

—雄大な自然の中での水上競技—

千葉県北部に位置する印西市は、「水上スポーツ 100 年の計」を提唱し、東京五輪ボート、カヌー競技場の印旛沼誘致をめざします。

世界と日本のアスリートが鍛錬する場、さらには印西市民、子どもが雄大な印旛沼の自然の中で水上競技に親しみ、健康づくりをする場を整備することを印西市は「100 年の計」とします。この「100 年の計」は、オリンピック競技場の「後利用」計画ではありません。むしろ逆で、オリンピック競技における印旛沼の利用は、「100 年の計」から見れば、「先利用」と言ることができます。

印旛沼は成田から 15 キロ圏、東京都心から 40 キロ圏という好立地であり、会場整備費用、波、風などの条件面でも優位性があります。

「100 年の計」を推進するため、印西市はボート、カヌー競技の練習場、艇庫、合宿所を整備、両競技の日本における拠点になります。

今後、50 年、100 年にわたってボート競技、カヌー競技の選手強化の基地になります。

オリンピック・パラリンピック競技開催をきっかけに印西市は「国際スポーツ交流」を推進します。市民と子どもたちは、自らスポーツに親しむとともに世界・日本のアスリートをもてなし、世界に目を開き、国際社会の中に仲間をつくっていきます。

(2 月 23 日の報道配布資料から抜粋)

板倉正直市長は、オリンピック・パラリンピックのキャンプ地等を推進するために「市長と語るタウンミーティング」(意見交換会)を開催します。現在、ボートとカヌーの競技場として予定されている東京湾の「海の森」は、海水であり、また、波・風の影響などから、選手側から不適であると懸念する声も上がっています。

そこで、板倉市長は、印旛沼の水辺を開発し、オリンピック・パラリンピックのボート、カヌーの競技場、事前キャンプ地を誘致することを決めました

# オリンピックを語ろう

4月4日(土)  
5日(日)

(左記百年の計参照)。

問秘書広報課オリンピック・パラリンピック推進室(内線 45、416)。

### 市長と語るタウンミーティング

市長が市民のみなさんと直接対話し、ご意見を伺います。開催日程は下表を参照。

※駐車場に限りがあるので、公共交通機関をご利用ください。

#### ○開催日程○

日時	場所
4月4日(土)・①午前10時~、 ②午後1時30分~	①ふれあい文化館・視聴覚室(原) ②文化ホール・多目的室(大森)
4月5日(日)・午後1時30分~	印旛公民館・視聴覚室(瀬戸)